

小麦づくり情報 10月号

村山総合支庁 農業技術普及課

小麦の播種適期です！作業は計画的にすすめましょう。
10月20日までには播種を終了し、根雪前に生育量の確保を！

1 排水対策・圃場準備

- 小麦は湿害に弱いので、**播種前の排水対策が不可欠**です。圃場周辺には必ず深さ40cm程度の明渠を掘り、確実に排水口につなぎましょう。
- 排水不良圃場では、本暗渠に加え、サブソイラ施行等で排水性を高めましょう。
- 直径2cm以下の土塊が70%以上となるよう、砕土・耕起は丁寧に行いましょう。

2 土づくり・施肥

- 小麦の最適土壌 pH は6.0～6.5**です。化成肥料の連用圃場では土壌が酸性化(pHが低下)するため、苦土石灰や炭カル等(80～120kg/10a程度)を施用しましょう。
- 堆肥の連年施用は収量性を高めます**。10a当たり1トン程度を施用しましょう。
- 小麦は根雪前の生育量を確保することが重要**です。播種が遅れる場合は基肥量を増やして(窒素成分で5kg/10aを上限)、生育量を確保しましょう。

3 適期播種

- 播種適期は10月上旬**です。10月20日までには播種を終えるよう、計画的に作業を行いましょう。
- 播種が遅れる場合は、20kg/10aを上限に播種量を増やしましょう。
- 播種深が深すぎると出芽が遅れ、浅すぎると除草剤の影響や凍害を受けやすくなります。**ドリル播きでは地表下2～3cmに、全面全層播種では0～5cmに**播種されるよう、機械を調節しましょう。

播種様式ごとの基肥量と播種量の目安

播種様式	基肥(kg/10a)			播種量(kg/10a)	播種深(cm)
	N	P	K		
条播 ドリル播種	10	10	10	10～12	2～3
散播 全面全層播種	15	15	15	12～15	5

4 病害・雑草防除

- 裸黒穂病や雲形病等を防ぐため、種子消毒(薬剤)を行いましょう。
- 播種後すみやかに除草剤を散布**し、雑草の発生を防ぎましょう。

秋季農作業事故防止運動強化期間 9月1日～10月31日

声をかけあい、助けあい、作業事故0へ！機械の点検整備を万全に！

問合せ先／村山総合支庁産業経済部農業技術普及課 (TEL:621-8294)